

所揚之造船所、三ヶ所、関目下ノ事業係管状態
 内偵スル左記ノ由、有之爲参考
 右及申、通報候也

一 株式会社川崎造船所 託

同會社、目下本方工場ニ使用セル職工ノ数、右ノ表ニ
 本社十一年度同期八三九六名 十二年度 七、九八九名
 兵庫分工場 三、九四〇名
 舞后分工場 七、三六名
 飛行機工場 三、七六名
 合計 一、三四四名
 一、三、五〇名

又前年度同期ニ比較スル、総人員ニ於テ、凡八名ノ
 増加ヲ来レシモ、又昨年ノ末、新入ノ雇員及不意ノ

ヲ淘汰シ、職工ノ新陳代謝ヲ行ヒ居ル結果、原料ノ

如キハ平均額ニ於テ、低キトシ、来レ居レリ

而シテ本工場ノ操業状態、莫ク見ルニ、目下ノ工程トシテハ

巡洋艦建造中ノモノ一隻、潜水艦装中ノモノ一隻、水雷

中ノモノ一隻、潜水艦装中ノモノ一隻、水雷装中ノモノ一隻、

ナルモノトシ、頗ル閑散ヲ極メ居レリ、社船ノ如キハ、職工ノ作

業ヲ行ハル爲建造中ノモノ、ミレテ、便途不明ナリ

兵庫分工場ノ於テハ、鐵道省客貨車ノ製造ヲ爲シ居

シルカ、以テ、鐵道省豫算ニ左右ラル、以テ、将来

乐观ヲ許サレ、凡ク状態ニナリ

舞后分工場ノ於テハ、金属薄板製造最モ多忙ヲ極メ

單リ相長ノ年績ヲ得、ソノ、如シ